

第 1 2 2 回本試験ライティング問題 模範解答例

2025 年 11 月 15 日に行われました、第 122 回本試験ライティング問題の模範解答を記載いたします。本試験ではライティング問題として実際にテーマに沿った文章を作成して頂きます。次回以降の本試験の参考にしてください。

【解説】ライティング問題は減点方式を採用しています。

日本クラウドソーシング検定協会ホームページの解答速報および問題例

(https://crowd-kentei.or.jp/about_test/grading/)

ではより詳しくライティング問題のルールを記載しておりますので、是非ご参照ください。

模範解答では下記の点などを守っています。

- ・キーワードは必ず文中で使用してください。
- ・記述すべきテーマから外れないように記述してください。
- ・規定された文字数を超えないようにしてください。
- ・「です・ます」「である・だ」等表記の統一を行ってください。
- ・主語、述語等は正しく使用してください。

【問.1】セルフレジについて 240 文字以上 300 文字以内で記述してください。

*文字数は下にカウントされていますのでご参照ください。

*ライティング問題は、コピーアンドペーストはできません。

*キーワードは必ず文章内で使用してください。

*書き出し例文は例文ですので、そのまま使用することは禁止です。

【書き出し例文】お買い物をする際、セルフレジを使用される方も多いのではないのでしょうか。

キーワード 1 : スーパー

キーワード 2 : 電子マネー

【模範解答 1】 267 文字

最近セルフレジを導入しているスーパーが、とても多くなってきました。セルフレジはレジ前で並ぶことが少ないため、一度やり方を覚えてしまうと時間を短縮することができるため大変便利です。自分で購入したい品物のバーコードを読み取り部分に読み込ませると、自動で金額を読み取ってくれます。また、支払い方法も現金やクレジット、電子マネーなど色々と選択することができますが、電子マネーはより時間を短縮できるので便利です。今まで一度もセルフレジを使ったことのない方も、使い方がわからない場合は店員さんが教えてくれますので挑戦してみてもいいのではないでしょうか。

【模範解答 2】 251 文字

スーパーで広く導入されているセルフレジは、電子マネーとの相性も良く、支払いがスムーズにできる点が大きな魅力です。自分のペースで操作でき、レジ待ちの時間も短縮できるため、皆様にとって便利な仕組みといえます。一方で、最初は操作に慣れる必要があり、機械が苦手な人にとっては戸惑う場合もあります。特にお年寄り

には画面操作や支払方法の選択が難しく感じられることがあり、使いこなすのにサポートは不可欠ではないでしょうか。それでもセルフレジは、慣れれば個人の自由度が高まり、買い物をより快適にする存在になっています。

【模範解答 3】 291 文字

セルフレジは、**スーパー**で買い物をする際の待ち時間を短縮できる便利な仕組みです。自分で商品を読み取り、支払いまで行えるため、レジの混雑を避けたい時に特に役立ちます。操作画面が分かりやすく設計され、初めてでも迷いにくいデザイン性の高さもポイントです。また近年のセルフレジは現金やクレジットカードだけでなく、**電子マネー**にも対応しています。交通系 IC カードやスマホ決済を活用すれば、小銭を用意しておく必要がありません。さらに支払いがスムーズで、衛生的なメリットがあるのも多くの人に選ばれる理由です。セルフレジは、スーパーの利便性を高める設備として、今後さらに需要が拡大し普及していくでしょう。

【問.2】 鍋料理について 240 文字以上 300 文字以内で記述してください。

- *文字数は下にカウントされていますのでご参照ください。
- *ライティング問題は、コピーアンドペーストはできません。
- *キーワードは必ず文章内で使用してください。
- *書き出し例文は例文ですので、そのまま使用することは禁止です。

【書き出し例文】 寒い時期になると、鍋料理を食べたくなる方も多いことでしょう。

キーワード 1 : 簡単

キーワード 2 : 具材

【模範解答 1】 270 文字

寒い冬の定番料理といえますとやはり、鍋料理ではないでしょうか。鍋料理は**簡単**に調理できるだけでなく栄養のバランスもとれますし、体も温まるので大変人気があります。しかし、一口に鍋料理といってもたくさんの種類があります。例えば、ちゃんこ鍋やキムチ鍋、しゃぶしゃぶなどたくさんあって、どの鍋料理にするか迷ってしまうほどです。特にちゃんこ鍋などは、野菜やお肉、魚、貝類などたくさんの**具材**が入っていますので、色々な味を楽しむことができます。また、スーパーなどでも様々な種類の鍋スープが販売されていますので、この冬みなさんも試してみたいのではないでしょうか。

【模範解答 2】 280 文字

鍋料理は、寒い時期にぴったりの**簡単**で温まる料理として多くの家庭で親しまれています。好きな**具材**を切って入れるだけで手間が少なく、野菜や肉、魚などをバランス良く楽しめるのが魅力です。煮込むことで素材のうま味がしっかり引き出され、どんな組み合わせでも美味しい一品になります。そして家族や親しい仲間と囲む鍋は、自然と会話も増えて嬉しい時間が生まれ、食卓が明るく楽しい雰囲気になります。また、一つの鍋を分け合うことで一体感が生まれ、心も体も温まるのが鍋料理の良さです。鍋料理は手軽さと美味しさ、そしてみんなで囲む楽しさが揃った、寒い季節に欠かせない存在といえるでしょう。

【模範解答 3】 264 文字

具材を活かした**簡単**な鍋料理は、忙しい日の食事作りにおすすめです。野菜や肉、豆腐など好みの具材を一口大に切り、具材を煮込むだけで栄養バランスのよい一品が完成します。そして味付けは、寄せ鍋やキムチ鍋、豆乳鍋など、好みに合わせて変えられるため、飽きずに楽しめます。さらに鍋料理は具材のうま味が自然とだしに溶

け出し、シメの雑炊やうどんまでおいしく食べられるのも魅力です。そのうえ体があたたまるため、肌寒い日の食事としても重宝されています。誰でも作りやすい簡単レシピで洗い物も少ない鍋料理は、忙しい現代人の食卓を支える心強い存在でしょう。

【問.3】毛布について 240 文字以上 300 文字以内で記述してください。

*文字数は下にカウントされていますのでご参照ください。

*ライティング問題は、コピーアンドペーストはできません。

*キーワードは必ず文章内で使用してください。

*書き出し例文は例文ですので、そのまま使用することは禁止です。

【書き出し例文】秋から冬に向かう中、寝具に毛布を追加する方も増えてくることでしょう。

キーワード 1 : 素材

キーワード 2 : 快眠

【模範解答 1】 272 文字

寒い冬に欠かせないのが暖かい毛布です。羽毛布団などのかけ布団の上に、毛布をもう一枚重ねることで熱を逃がさず朝までぐっすりと**快眠**できます。最近では、様々な**素材**の毛布がホームセンターやショッピングモールなどでこの時期たくさん販売されています。例えば、ウールやカシミア、アクリルなど熱を逃がさない特殊な素材の繊維もあります。また、電気毛布を敷布団の上に敷くと、より簡単に体を温めることができるので利用している人も多いでしょう。さらに毛布だけでなく、湯たんぽやカイロなど体を温めるグッズをうまく使えば、寒い冬は乗り切ることができるのではないのでしょうか。

【模範解答 2】 262 文字

毛布は、**快眠**とあたたかさをサポートしてくれる大切な寝具です。**素材**には、柔らかくて気持ちがいよいフланネルやマイクロファイバー、保温性に優れたウールなど様々な種類があり、自分に合った質感や滑らかさを選べます。肌触りのよい毛布は体を優しく包み込み、寝つきもよくして健康を保つ助けにもなります。寒い季節でもしっかりあたたかさを保ち、安心して眠れる環境を作ってくれる点が魅力です。また、好みの色や柄を選ぶことで気分が上がり、寝室の雰囲気作りにも役立ちます。心地よさと実用性を兼ね備えた毛布は、毎日の睡眠の質を高める大切なアイテムです。

【模範解答 3】 261 文字

毛布は**素材**によってあたたかさや肌触りが大きく変わるため、自分に合った一枚を選ぶことが**快眠**への近道です。例えば、ふんわりとしたマイクロファイバー素材は保温性が高く、寒い季節でも体をしっかり包み込んでくれます。また綿素材は通気性がよく、蒸れにくいのでオールシーズン快適に使えます。さらに、ウール素材は自然なあたたかさと調湿性に優れ、寝ている間の温度差を和らげてくれるのが特徴です。毛布はただあたたかいだけではなく、体感温度や寝心地に直結する重要な寝具です。自分の体質や季節に合わせた素材を選べば、より質の高い快眠が得られます。

【問.4】旅行の際に欠かせない持ち物について 320 文字以上 400 文字以内で記述してください。

*ライティング問題は、コピーアンドペーストはできません。

*文字数は下にカウントされています。ご参考ください。

＊書き出し例文を参考にして文章を書いてください。書き出し例文をそのまま使用することは禁止です。
＊この問題にキーワードはありません。自由に記述してください。

【書き出し例文】食欲の秋において、大好きなフルーツがある方も多いことでしょう。

【模範解答 1】 369 文字

みなさんにとって旅行の際に欠かせない持ち物はなんでしょうか。例えば着替えの下着や靴下などは当たり前の持ち物かもしれませんが、人によっては、薬や眼鏡、保険証などを忘れずに持っていくと良いでしょう。そして女性の場合は、普段から使用している化粧品やクレンジングを持っていくと安心です。さらに、旅行先が自然の多い場所や登山などの場合は、簡易な救急セットや帽子、虫よけスプレーなどを持っていくと便利でしょう。しかし、あまり持ち物が多いと荷物が重くなって大変ですので、シャンプーや歯ブラシなどホテルで利用できるものは、なるべく持っていわずに荷物は軽くしたいものです。また、海外旅行の場合は、特にパスポートやクレジットカードなどは欠かせないものではないでしょうか。旅行の前には忘れ物がないよう、しっかりと前日に確認をして楽しい旅となるようにしましょう。

【模範解答 2】 334 文字

旅行の際に欠かせない持ち物を考えたときに、まず思い浮かぶのは軽くて仕切りの多いカバンではないでしょうか。荷物を分類しやすく、必要なものをすぐに取り出せるため、移動中のストレスが大きく減ります。特に、使わないときは畳んでしまえるタイプのカバンは、サブバッグとしても役立ち、旅行先で荷物が増えた時にも重宝します。また、長時間移動していても肩や腕に負担がかかりにくくて疲れにくい設計のものを選ぶことで、旅の快適さが大きく変わります。見た目も大切で、デザインが可愛く、自分好みの色を選ぶと気分が上がり、旅の楽しさもより広がります。こうした機能性とデザイン性を兼ね備えたカバンは、旅行の心強い相棒となり、準備から移動、滞在までをスムーズで快適にしてくれる欠かせないアイテムです。

【模範解答 3】 396 文字

旅行の際に欠かせない持ち物は、旅の快適さと安全性を左右する重要なアイテムです。例えば必ず用意したいのが、パスポートや身分証明書などの貴重品でしょう。これらは肌身離さず携帯でき、すぐに取り出せる専用のポーチにまとめておくと安心です。スマートフォンと、充電器やモバイルバッテリーも移動中の情報収集や写真撮影に欠かせません。長時間の外出でスマートフォンのバッテリーが切れてしまうのは大きなストレスになるため、充電器やモバイルバッテリーは必ず用意しておきましょう。また常備薬や絆創膏などの救急用品を持っておくと、急な体調不良や怪我に対応できます。季節や目的地に合わせた衣類、折りたたみ傘、エコバッグも役立ちます。さらに、旅行用の圧縮袋は荷物をコンパクトにまとめられ、帰りのお土産が増えても安心です。このような持ち物を準備しておけば、旅行中のトラブルも防げて、より快適で充実した時間を過ごせるでしょう。

ライティング問題-総評-

第 122 回 WEB ライティング技能検定 本試験を受験頂いた皆様、お疲れ様でした。

ここでは今回の第 122 回 WEB ライティング技能検定 本試験 ライティング問題の総評をお伝えいたします。

今回の本試験では、4 択問題において満点、または満点に近い得点の方がほとんどでした。4 択問題は引き続き満点を目指す気持ちで学習を続けて下さい。

実技のライティング問題では、クラウドソーシング上では納品物として承認され難く試験上でも大きく減点対象となる内容（例えば主観的な表現や違うテーマの文章など）が見受けられた他、同様な表現の繰り返し、誤変換や誤入力、短い文章の連続、助詞の使用法や誤字など細かいミス、文章表現として不自然さが感じられるものが目立ちました。今回惜しくも不合格となってしまった方は、本協会より案内しております解答速報、総評、また教材などをご参考にライティングスキル向上を目指し、学習に励んで下さい。

ライティング問題の総評では、より細かく、一部の方の解答を参考にしてご説明いたします。

まだライティングに自信がない方もライティングに自信がある方も総評を参考に学習して頂ければ幸いです。

*今回受験頂いた方の中から主な減点対象を抜粋して総評に加えさせて頂いております。

実技 ライティング問題の個別解答に対する減点箇所

問 1 セルフレジについて 240 文字以上 300 文字以内で記述してください。

キーワード 1：スーパー 2：電子マネー

【解答例 1】

「今まで一度もセルフレジを使ったことがない方も、使い方がわからない場合は店員さんが教えてくれますので挑戦してみてもいいのではないでしょうか。」

上記解答例では、1 文に助詞である「が」が多用された文章です。

【修正例 1】

「今まで一度もセルフレジを使ったことのない方も、使い方がわからない場合は店員さんが教えてくれますので挑戦してみてもいいのではないでしょうか。」

上記修正例では、文意を鑑みて助詞を調整し、文章を修正いたしました。助詞の使い方を誤ると、本来伝えたい内容が上手く読者に伝わらなくなってしまうので注意しましょう。

また一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤字脱字だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

【解答例 2】

「近年スーパーなどの店でよく見られるセルフレジは大変便利であり、」

「電子マネーは使用できるか、領収書は発行してもらえるか**等**や、」

上記解答例では1文中に「など」「等」のように異なる表現が混在しております。

【修正例2】

「電子マネーは使用できるか、領収書は発行してもらえるか**など**や、」

上記修正例では、「など（ひらがな表記）」に統一しました。同一文章中に表記ゆれが混在すると、読者に読み難さや違和感を与えてしまいますので注意しましょう。またこのようなものは文章作成後の見直しを行うことで軽減できます。文章作成後は見直しを行うようにしましょう。

【解答例3】

「どこに商品を**翳せいいのか**わからないといった初歩的なものまであらゆる疑問を解決しづらく感じ、」

上記解答例では、「翳せいいのか」が誤入力となります。

【修正例3】

「どこに商品を**翳せばいいのか**わからないといった初歩的なものまであらゆる疑問を解決しづらく感じ、」

上記修正例では、文意を鑑みながら誤入力を修正しました。「翳せばいいのか」が正しい表現となります。特にWEBライティングでは誤字脱字、誤変換が起りやすいので、一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤変換だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

【解答例4】

「スーパーで広く導入されているセルフレジは、電子マネーとの相性**が**良く、支払い**が**スムーズにできる点**が**大きな魅力です。」

上記解答例では、1文に助詞である「が」が多用された文章です。

【修正例4】

「スーパーで広く導入されているセルフレジは、電子マネーとの相性**も**良く、支払いがスムーズにできる点**が**大きな魅力です。」

上記修正例では、文意を鑑みて助詞を調整し、文章を修正いたしました。助詞の使い方を誤ると、本来伝えたい内容が上手く読者に伝わらなくなってしまうので注意しましょう。

また一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤字脱字だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

【解答例 5】

「操作画面が分かりやすく設計され、初めてでも迷いにくいデザイン性の高さもポイントです。近年のセルフレジは現金やクレジットカードだけでなく、電子マネーにも対応しています。」

上記解答例では、文と文の間に適切な接続詞が使用されていません。

【修正例 5】

「操作画面が分かりやすく設計され、初めてでも迷いにくいデザイン性の高さもポイントです。また近年のセルフレジは現金やクレジットカードだけでなく、電子マネーにも対応しています。」

上記修正例では、接続詞「また」を追記いたしました。適切な接続詞を用いることでその前後の文章が繋がり、読みやすい文章になります。読者にとって読みやすい文章を心がけるようにしましょう。

問 2 鍋料理について 240 文字以上 300 文字以内で記述してください。

キーワード 1：簡単 キーワード 2：具材

【解答例 1】

「寒い日に身体を温めることができるだけでなく、自由に好きな具材を入れて楽しめるという多様性があります。」

「また、出汁やスープをあたためて具材に火が通るまで待つだけで簡単に調理できる点もお手軽です。」

上記解答例では 1 文中に「温める」「あたためて」のように異なる表現が混在しております。

【修正例 1】

「寒い日に身体をあたためることができるだけでなく、自由に好きな具材を入れて楽しめるという多様性があります。」

上記修正例では、「あたためる（ひらがな表記）」に統一しました。同一文章中に表記ゆれが混在すると、読者に読み難さや違和感を与えてしまいますので注意しましょう。またこのようなものは文章作成後の見直しを行うことで軽減できます。文章作成後は見直しを行うようにしましょう。

【解答例 2】

「家族や親しい仲間と囲む鍋は、自然と会話が増えて嬉しい時間が生まれ、食卓が明るく楽しい雰囲気になります。」

上記解答例では、1 文に助詞である「が」が多用された文章です。

【修正例 2】

「家族や親しい仲間と囲む鍋は、自然と会話も増えて嬉しい時間が生まれ、食卓が明るく楽しい雰囲気になります。」

上記修正例では、文意を鑑みて助詞を調整し、文章を修正いたしました。助詞の使い方を誤ると、本来伝えたい内容が上手く読者に伝わらなくなってしまうので注意しましょう。

また一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤字脱字だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

【解答例 3】

「そして鍋料理の楽しみの一つが鍋の締めです。」

上記解答例では、1文に助詞である「の」が多用された文章です。

【修正例 3】

「そして鍋料理の楽しみの一つが締めです。」

上記修正例では、文意を鑑みて助詞を調整し、文章を修正いたしました。助詞の使い方を誤ると、本来伝えたい内容が上手く読者に伝わらなくなってしまうので注意しましょう。

また一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤字脱字だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

【解答例 4】

「野菜や肉、豆腐などの好み具材を一口大に切り、具材を煮込むだけで栄養バランスのよい一品が完成します。」

上記解答例では、1文に助詞である「の」が多用された文章です。

【修正例 4】

「野菜や肉、豆腐など好みの具材を一口大に切り、具材を煮込むだけで栄養バランスのよい一品が完成します。」

上記修正例では、文意を鑑みて助詞を調整し、文章を修正いたしました。助詞の使い方を誤ると、本来伝えたい内容が上手く読者に伝わらなくなってしまうので注意しましょう。

また一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤字脱字だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

【解答例 5】

「秋も深まり、これから冬に向けて温かい食べ物が欲しくなります。ぜひ鍋料理を作ってみてはいかがでしょう。」

上記解答例は、副詞の係り受けに誤りがあります。

【修正例 5】

「秋も深まり、これから冬に向けて温かい食べ物が欲しくなります。ぜひ鍋料理を作ってみてください。」

副詞「ぜひ」に対しては、「～ほしいください」のような願望を表す表現が正しい係り受けとなります。そのため上記修正例では文意を鑑みて、「過ごしてみてください」という表現に修正を行いました。正しい係り受けの表現を行わないと、読者に違和感を与えかねませんので注意しましょう。またこのようなことは文章作成後の見直しを行うことで軽減できます。文章作成後は見直しを行うようにしましょう。

問3 毛布について240文字以上300文字以内で記述してください。

キーワード1：素材 キーワード2：快眠

【解答例1】

「羽毛ふとんなどのかけ布団の上に、毛布をもう一枚重ねることで熱を逃がさず」

上記解答例では1文中に「ふとん」「布団」のように異なる表現が混在しております。

【修正例1】

「羽毛布団などのかけ布団の上に、毛布をもう一枚重ねることで熱を逃がさず」

上記修正例では、「布団（漢字表記）」に統一しました。同一文章中に表記ゆれが混在すると、読者に読み難さや違和感を与えてしまいますので注意しましょう。またこのようなものは文章作成後の見直しを行うことで軽減できます。文章作成後は見直しを行うようにしましょう。

【解答例2】

「これら以外にも種類はありますので比較してみて自分のお気に入りの毛布を見つけてみてください。」

上記解答例は、読点が適切に使われていないため読み難い文章となっております。

【修正例2】

「これら以外にも種類はありますので、比較してみて自分のお気に入りの毛布を見つけてみてください。」

上記修正例では、文意を鑑みて適切な場所に読点を追加する形で修正しました。読点は適切に使用すると読者にとって読みやすい文章となりますので、上手く使うよう心がけましょう。

【解答例3】

「毛布は素材によってあたたかさや肌触りが大きく変わるため、自分に合った一枚を選ぶことが快眠への近道です。ふんわりとしたマイクロファイバー素材は保温性が高く、寒い季節でも体をしっかり包み込んでくれます。」

上記解答例では、文と文の間に適切な接続詞が使用されていません。

【修正例 3】

「毛布は素材によってあたたかさや肌触りが大きく変わるため、自分に合った一枚を選ぶことが快眠への近道です。**例えば**、ふんわりとしたマイクロファイバー素材は保温性が高く、寒い季節でも体をしっかり包み込んでくれます。」

上記修正例では、接続詞「例えば」を追記いたしました。適切な接続詞を用いることでその前後の文章が繋がり、読みやすい文章になります。読者にとって読みやすい文章を心がけるようにしましょう。

【解答例 4】

「合成繊維のものから動物の毛皮を使用したものと素材も様々で、敷布団用や掛布団用、ひざ掛け用と用途も色々あるのでご自身に合ったものを利用しましょう。睡眠時は、足が冷えているとなかなか眠ることができないので、足を温める方法として毛布や湯たんぽを併用するのがお勧めです。」

上記解答例では、文と文の間に適切な接続詞が使用されていません。

【修正例 4】

「合成繊維のものから動物の毛皮を使用したものと素材も様々で、敷布団用や掛布団用、ひざ掛け用と用途も色々あるのでご自身に合ったものを利用しましょう。**また**睡眠時は、足が冷えているとなかなか眠ることができないので、足を温める方法として毛布や湯たんぽを併用するのがお勧めです。」

上記修正例では、接続詞「また」を追記いたしました。適切な接続詞を用いることでその前後の文章が繋がり、読みやすい文章になります。読者にとって読みやすい文章を心がけるようにしましょう。

【解答例 5】

「毛布の有無で、睡眠の質が変わると**思います**。よい寝具を選び、快眠できるように**願っています**。睡眠は健康への第一歩だと**思います**。」

上記解答例は 「思います」や「願っています」という主観的な表現がみられます。時に「私は●●です」「●●だと思います」のような表現は筆者の意見が強くなり感想文のような内容になってしまいます。またそのような文章はクラウドソーシングサイトで承認を得られないことも多くありますので、主観的な表現を使わないように注意しましょう。

問 4 旅行の際に欠かせない持ち物について 320 文字以上 400 文字以内で記述してください。

キーワード なし

【解答例 1】

「しっかりと前日**に**確認をして楽しい旅**に**なるよう**に**しましょう。」

上記解答例では、1 文に助詞である「に」が多用された文章です。

【修正例 1】

「しっかりと前日に確認をして楽しい旅とるようにしましょう。」

上記修正例では、文意を鑑みて助詞を調整し、文章を修正いたしました。助詞の使い方を誤ると、本来伝えたい内容が上手く読者に伝わらなくなってしまうので注意しましょう。

また一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤字脱字だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

【解答例 2】

「特に、使わないときは畳んでしまえるタイプのカバンは、サブバックとしても役立ち、」

上記解答例では、「サブバック」が誤入力となります。

【修正例 2】

「特に、使わないときは畳んでしまえるタイプのカバンは、サブバッグとしても役立ち、」

上記修正例では、文意を鑑みながら誤入力を修正しました。「サブバッグ」が正しい表現となります。特に WEB ライティングでは誤字脱字、誤変換が起こりやすいので、一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤変換だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

【解答例 3】

「また、長時間の移動でも肩や腕に負担がかかかりにくくて疲れにくい設計のものを選ぶことで、」

上記解答例では、「かかかりにくくて」が誤入力となります。

【修正例 3】

「また、長時間の移動でも肩や腕に負担がかかりにくくて疲れにくい設計のものを選ぶことで、」

上記修正例では、文意を鑑みながら誤入力を修正しました。「かかりにくくて」が正しい表現となります。特に WEB ライティングでは誤字脱字、誤変換が起こりやすいので、一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤変換だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

【解答例 4】

「長時間の外出でスマートフォンのバッテリーが切れてしまうのは大きなストレスになるため、充電器やモバイルバッテリーは必ず用意しておきましょう。常備薬や絆創膏などの救急用品を持っておくと、急な体調不良や怪我に対応できます。」

上記解答例では、文と文の間に適切な接続詞が使用されていません。

【修正例 4】

「長時間の外出でスマートフォンのバッテリーが切れてしまうのは大きなストレスになるため、充電器やモバイルバッテリーは必ず用意しておきましょう。**また**常備薬や絆創膏などの救急用品を持っておくと、急な体調不良や怪我に対応できます。」

上記修正例では、接続詞「また」を追記いたしました。適切な接続詞を用いることでその前後の文章が繋がり、読みやすい文章になります。読者にとって読みやすい文章を心がけるようにしましょう。

【解答例 5】

「以前は粉せっけんを**使用したことはありませんでした**。しかし、たまたま粉せっけんを自宅で使用したときに、本当に**便利だと思いました**。」

上記解答例は 「使用したことはありませんでした」や「便利だと思いました」という主観的な表現がみられます。時に「私は●●です」「●●だと思います」のような表現は筆者の意見が強くなり感想文のような内容になってしまいます。またそのような文章はクラウドソーシングサイトで承認を得られないことも多くありますので、主観的な表現を使わないように注意しましょう。

実技 ライティング問題の総合的な減点箇所

今回受験頂いた方の内、惜しくも不合格となられた方々に共通する減点箇所としては、**助詞の連続使用や使い方**、**句点読点の使い方**、**接続詞の使い方**、**誤字脱字**や**誤変換**などが多く見受けられました。

そして、主観的な文章表現や文脈的に不自然さを感じさせる内容は、読者に読み難さを与えてしまうだけでなく、クラウドソーシング上でも非承認となりやすい文章となります。特に文章中の主語は何なのか、が不明確になると不自然さが強くなってしまいますので注意しましょう。

また、指定キーワードが使われていなかったり、文章の内容が指定テーマから逸脱したり、さらに書き出し例文をそのまま解答に使用すると大幅な減点となります。なので、文章作成後、一度読み返して指定テーマについてしっかりと書かれているか確認するようにしましょう。

他にも 1 文に情報を詰め込み過ぎてしまうと、**助詞の連続使用**など意図しないミスが多くなることがあります。ライティングを終えた際には文章の見直しを行い、誤った表現や意味が通り難い文章の有無などを確認するようにしましょう。